

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有限会社ベルジェ：ベルジェ動物病院

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、皆様の満足度を向上させ、診断治療技術に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、ニーズが高まります。

A) 労働生産性の向上

新しい画像診断支援システムでは従来のレントゲン撮影で必須だったカセットの交換という作業が省かれ、検査時間が大幅に短縮されます。このような最新のデジタル技術を活用することで、院内の労働生産性を向上させます。

B) 見える化の推進

新しい画像診断支援システムを用いることによって、これまで詳細に把握できなかった動物の体内の状況をデジタル技術により、従来よりも一層クライアントの皆様が目で見えて理解していただくことが可能になります。より理解をして頂いた上で治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底することができます。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術によりより正確な検査、そして診断につなげることができ、正しく治療することが可能になります。

2. 上記を踏まえた病院の運営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、
より高いレベルの診療を提供する地域密着型の動物病院へ」

当院は本事業を通じて最新の画像診断支援システムを導入します。本機器は最新のデジタル技術を活用しており高度な医療を提供します。デジタル技術の活用により当院と動物、オーナー様にとって、「より正確な検査を、ペットへの負担少ない状態でできる」「待ち時間が少ない」などの多くのメリットを持ちます。このことが病院運営面に寄与することがより多くのオーナー様の満足度が向上することになると信じております。

3. 当院の運営ビジョンの実現のための戦略

- 当院が得意とする腎泌尿器疾患以外にも、当院全体の診療効率を上げるためにデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化し、最新機器を最大限活かすための教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

4. 戦略推進のための組織体制

